

令和2年度 美浦村決算報告

『人と自然が輝くまち 美浦』をめざして
村のお金はこのように使われました

美浦村の令和2年度歳入歳出決算（一般会計・特別会計・企業会計）が、9月の村議会定例会で認定されました。すべての会計を集計した決算の総額は、歳入では139億7,502万2,254円、歳出においては136億6,034万5,374円となりました。

一般会計

歳入 88億3,811万9,336円

その他 (1.2%)
ゴルフ場利用税交付金・配当割交付金・株式等譲渡所得割交付金・地方特例交付金・利子割交付金・交通安全対策特別交付金・環境性能割交付金・法人事業税交付金
1億0,142万6,926円

地方譲与税 (0.9%)
8,269万9,000円

地方消費税交付金 (3.8%)
3億4,018万0,000円

県支出金 (5.5%)
4億8,478万2,151円

村債 (6.4%)
5億6,240万4,000円

地方交付税 (19.4%)
17億1,653万7,000円

自主財源 37.5%
33億1,363万3,167円

依存財源 62.5%
55億2,448万6,169円

国庫支出金 (25.3%)
22億3,645万7,092円

固定資産税 (15.4%)
13億6,167万5,534円

村民税 (11.3%)
9億9,700万4,618円

村たばこ税 (1.0%)
8,760万4,562円

軽自動車税 (0.6%)
5,206万3,108円

繰越金 (4.1%)
3億5,981万0,730円

繰入金 (0.9%)
8,358万0,755円

寄附金・諸収入等 (4.2%)
3億6,889万3,860円

村税 (28.3%)
25億0,134万7,822円

歳出 83億0,230万6,732円

議会費 (1.2%)
9,979万8,807円

消防費 (3.8%)
3億1,567万2,791円

農林水産業費 (4.2%)
3億5,151万9,010円

土木費 (5.2%)
4億2,885万4,382円

公債費 (7.5%)
6億2,160万8,788円

教育費 (9.9%)
8億2,071万1,987円

衛生費 (12.3%)
10億2,532万9,120円

民生費 (21.6%)
17億9,416万4,627円

積立金 (5.6%)
4億6,800万円

繰入金 (6.7%)
5億5,261万円

公債費 (7.5%)
6億2,161万円

扶助費 (8.2%)
6億7,776万円

物件費 (11.1%)
9億1,990万円

人件費 (15.8%)
13億1,639万円

補助費等 (41.1%)
34億1,756万円

特別定額給付金事業、基金積立費、賦課及び徴収事務費

特別定額給付金、一部事務組合負担金(江戸崎地方衛生土木組合等)、各種団体補助金等

特別定額給付金、一部事務組合負担金(江戸崎地方衛生土木組合等)、各種団体補助金等

特別定額給付金、一部事務組合負担金(江戸崎地方衛生土木組合等)、各種団体補助金等

特別定額給付金、一部事務組合負担金(江戸崎地方衛生土木組合等)、各種団体補助金等

特別定額給付金、一部事務組合負担金(江戸崎地方衛生土木組合等)、各種団体補助金等

特別定額給付金、一部事務組合負担金(江戸崎地方衛生土木組合等)、各種団体補助金等

特別定額給付金、一部事務組合負担金(江戸崎地方衛生土木組合等)、各種団体補助金等

村民一人当りの
歳出額
556,791円

※令和3年4月1日現在の人口
14,911人で割り戻した額。

※各項目の主な歳出

普通建設事業費 (3.3%)
2億7,815万円

維持補修費 (0.5%)
4,380万円

災害復旧費 (0.1%)
453万円

投資及び出資金
・貸付金 (0.1%) 200万円

積立金 (5.6%)
4億6,800万円

繰入金 (6.7%)
5億5,261万円

公債費 (7.5%)
6億2,161万円

扶助費 (8.2%)
6億7,776万円

物件費 (11.1%)
9億1,990万円

人件費 (15.8%)
13億1,639万円

補助費等 (41.1%)
34億1,756万円

特別定額給付金、一部事務組合負担金(江戸崎地方衛生土木組合等)、各種団体補助金等

特別定額給付金、一部事務組合負担金(江戸崎地方衛生土木組合等)、各種団体補助金等

特別定額給付金、一部事務組合負担金(江戸崎地方衛生土木組合等)、各種団体補助金等

特別定額給付金、一部事務組合負担金(江戸崎地方衛生土木組合等)、各種団体補助金等

特別定額給付金、一部事務組合負担金(江戸崎地方衛生土木組合等)、各種団体補助金等

特別定額給付金、一部事務組合負担金(江戸崎地方衛生土木組合等)、各種団体補助金等

歳出の 性質別内訳

歳入歳出差引残金
5億3,581万2,604円は、
令和3年度へ繰越します

【一般会計歳出】

令和2年度一般会計歳出決算額は83億0,230万6,732円となりました。総務費では、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として実施した特別定額給付金事業等により19億8,595万7,617円の増、衛生費では、江戸崎地方衛生土木組合のごみ処理場の建設事業費の負担金等により3億1,586万5,219円の増、教育費では、前年度に実施した大谷小学校の給食室の改築及びエレベータ設置工事が完了したこと等により2億5,123万7,469円の減、民生費では、介護施設の開設準備経費支援事業等により1億3,153万9,314円の増、農林水産業費では、蔵後余郷入土地改良区の経営体育成関連流動化促進事業等により1億0,246万6,245円増加しています。前年度と比較すると歳出総額で23億8,640万7,430円(40.3%)の増加となりました。

【一般会計歳入】

令和2年度一般会計歳入決算額は88億3,811万9,336円で、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策としての特別定額給付金事業等により国庫支出金18億1,104万4,223円の増、江戸崎地方衛生土木組合のごみ処理場の建設事業費の負担金等の増により地方交付税5億8,105万3,000円の増、蔵後余郷入土地改良区の経営体育成関連流動化促進事業等により県支出金1億8,052万5,203円の増、繰入金1億7,938万0,275円の減、繰越金1億7,201万3,306円の増等のより、前年度と比較して25億6,240万9,304円(40.1%)の増となりました。内訳は、村税、繰越金、繰入金、寄附金等の自主財源が33億1,363万3,167円(37.5%)、これに対して国・県支出金、地方交付税、村債、地方消費税交付金等の依存財源は55億2,448万6,169円(62.5%)となっています。村税は固定資産税と軽自動車税の増により対前年度比0.8%、1,886万8,713円増収となりました。

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づく財政指標

健全化判断比率

《実質赤字比率》一般会計等を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率。

※15%以上で財政健全化団体、20%以上で財政再生団体。

なし

《連結実質赤字比率》全ての会計を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率。

※20%以上で財政健全化団体、30%以上で財政再生団体。

なし

《実質公債費比率》一般会計等が負担する元利償還金等の標準財政規模に対する比率。

※18%以上で地方債を発行する際に県知事の許可が必要。25%以上で財政健全化団体、35%以上で財政再生団体。
※財政健全化団体は地方債発行で一部制限有り。財政再生団体は地方債発行で多くの制限有り。

6.1%

《将来負担比率》地方債の残高をはじめ一般会計等が将来負担すべき、現時点での実質的な負債の標準財政規模に対する比率。350%以上で財政健全化団体となります。

92.2%

公営企業会計資金不足比率

《資金不足比率》公営企業会計の資金不足額の事業規模に対する比率。20%以上で経営健全化団体となり、公営企業の経営の健全化を図る計画を策定しなければなりません。美浦村に資金不足額はありません。

村の預金(基金)と借金(地方債残高)の状況 《令和2年度末現在》

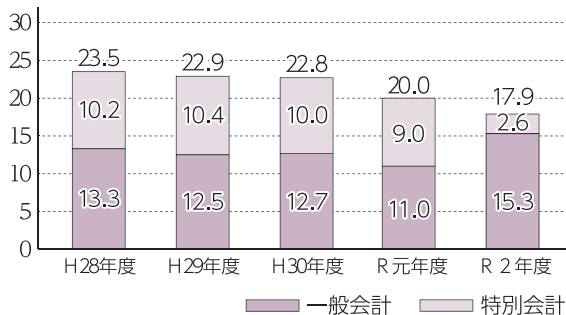
預金(基金の現在高) 17億8,755万円

一般会計	財政調整基金	5億1,656万円
	減債基金	1億8,162万円
	ふるさと基金	3,950万円
	公共公益施設整備基金	6,676万円
	地域福祉基金	1億8,925万円
	陸平基金	5,531万円
	学校施設建設基金	2億5,336万円
	地域振興基金	1,278万円
	安中地区総合開発関連公共施設整備基金	803万円
	学校教育振興基金	1,746万円
	ふるさと応援基金	6,909万円
	公共施設の屋根貸し等による太陽光発電事業基金	309万円
	森林環境譲与税基金	273万円
	土地開発基金	1億1,302万円
	収入印紙等購買基金	438万円
	計	15億3,294万円
特別会計	国民健康保険支払準備基金	1億5,382万円
	介護給付費準備基金	1億0,078万円
	計	2億5,460万円

借金(地方債残高) 139億8,781万円

一般会計	一般公共事業債	2億7,073万円	
	災害復旧事業債	699万円	
	緊急防災・減災事業債	4,143万円	
	全国防災事業債	1,300万円	
	教育・福祉施設等整備事業債	15億1,311万円	
	一般単独事業債	10億7,424万円	
	財源対策債	1億7,888万円	
	減収補填債	3,488万円	
	減税補てん債	5,103万円	
	臨時財政対策債	43億5,662万円	
	都道府県貸付金	5,799万円	
	計	75億9,890万円	
	企業会計	水道事業	7億1,198万円
		下水道事業	51億1,900万円
電気事業		5億5,793万円	
計	63億8,891万円		

基金残高の推移 [単位: 億円]



《基金》家計でいう貯金。特定の目的のために維持、積立、運用する財産です。

《地方債》家計でいう借金。臨時突発的な出費や将来の住民も経費を分担することが公平である場合等に、村の資金調達のために負担する債務です。

特別会計

国民健康保険	歳入	17億2,043万6,453円	6,469万6,726円を令和3年度へ繰越
	歳出	16億5,573万9,727円	
介護保険	歳入	13億1,426万4,996円	6,533万5,294円を令和3年度へ繰越
	歳出	12億4,892万9,702円	
後期高齢者医療	歳入	1億7,121万3,926円	67万3,663円を令和3年度へ繰越
	歳出	1億7,054万0,263円	

【国民健康保険】歳入の主なもの、県支出金10億7,786万6,969円と国民健康保険税4億1,881万4,326円で、全体の約87%を占めます。国民健康保険税のうち、現年課税分徴収額は3億9,132万3,765円で、被保険者一人あたり10万3,661円(年間平均被保険者3,775人)です。歳出では、保険給付費10億5,459万6,649円と、国民健康保険事業費納付金4億4,377万1,876円と、全体の約90%を占めます。平成30年度の税率改定以降、一般会計からの法定外繰入を解消する等、国民健康保険財政の安定的な運営に努めています。

【介護保険】保険料徴収額は2億5,721万7,372円(特別徴収額2億3,282万9,240円、普通徴収額2,238万1,553円、滞納繰越分200万6,579円)で、第1号被保険者数は4,624人、認定者数は684人、保険給付費は11億4,089万8,302円となっています。

【後期高齢者医療】保険料徴収額は1億3,049万5,900円(特別徴収額9,167万7,300円、普通徴収額3,825万4,240円、滞納繰越分56万4,360円)です。徴収した保険料は、保険者である茨城県後期高齢者医療広域連合へ納付しています。

企業会計

水道事業	収益的	収入	5億5,480万1,163円	差引 1,455万1,544円
		支出	5億4,024万9,619円	
	資本的	収入	251万9,000円	差引 △7,656万6,394円
		支出	7,908万5,394円	
下水道事業	収益的	収入	8億5,717万8,247円	差引 △2,617万3,651円
		支出	8億8,335万1,898円	
	資本的	収入	4億0,719万2,000円	差引 △2億7,204万8,821円
		支出	6億7,924万0,821円	
電気事業	収益的	収入	1億0,929万7,133円	差引 5,922万1,098円
		支出	5,007万6,035円	
	資本的	収入	0円	差引 △5,082万5,183円
		支出	5,082万5,183円	

【水道事業】収益的収入支出は水を供給するための経営活動に伴う収支のことで、資本的収入支出は施設の整備・拡充などに要する支出及び償還金とその財源の収入のことで、不足額については留保資金(減価償却費など)等で補填しています。令和2年度は、美浦村内1地区(1箇所)において配水管布設替工事(97.3m)を行いました。また、新規加促進のため、加入分担金の減免措置を実施しました。

【下水道事業】収益的収入支出は下水道施設の維持管理などの経営活動に伴う収支のことで、資本的収入支出は施設の整備・拡充などに要する支出及び償還金とその財源の収入のことで、不足額については留保資金(減価償却費など)等で補填しています。令和2年度は、木原地区、布佐地区、土屋地区、宮地地区において2,803mの排水管整備工事を行いました。令和2年度も水質浄化対策の推進として、接続支援事業を実施しました。

【電気事業】美浦村メガソーラー発電所で、1年間を通して売電を行いました。収益的収入は主に売電で得た収入です。当初の発電見込を494,582kWh上回り、2,757,942kWh(達成率121.85%)を発電しました。収益的支出は主に発電所に係るメンテナンス委託料や建設費の減価償却費となっています。資本的収入はございませんでした。資本的支出は、用地取得費及び建設費の償還金を支出しております。不足額については留保資金(減価償却費など)等で補填しています。